

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月22日(木)

事務事業		障害関係手当給付事業			担当課	障害福祉課	担当係	給付係	管理番号	26121
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	特別児童扶養手当等に関する法律・深谷市在宅重度心身障害者手当支給条例・施行規則				
	小項目	3	障害者福祉の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要	重度の心身障害者（児）の経済的及び精神的な負担軽減を図るため、各種手当を支給するものである。									
目的 ※何のために	重度障害者の経済的及び精神的負担の軽減。									
対象 ※誰・何を対象に	身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方。									
手段 ※どのように	申請により、国・県・市の手当を支給する。									
成果 ※何を求めるか	各障害関係手当の支給により、障害者（児）の経済的及び精神的負担の軽減を図る。									
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業	区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）
	一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	障害関係手当給付事業		125,338,000
本事業の 主な業務	・特別障害者手当支給					・				
	・障害児福祉手当支給					・				
	・福祉手当支給					・				
	・在宅重度心身障害者手当支給					・				
	・					・				
	・					・				

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
年度別計画		各障害関係手当の支給	各障害関係手当の支給	各障害関係手当の支給	各障害関係手当の支給			
事業費	予算（現額）	135,636,000	129,337,000	130,043,000	129,568,000			
	決算額	127,759,910	125,338,000	0	0			
	財源内訳	国支出金	39,648,960	39,038,925	42,132,000	42,226,000		
		県支出金	37,232,000	36,445,000	36,850,000	36,550,000		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0	0		
	一般財源	50,878,950	49,854,075	51,061,000	50,792,000			
人件費	従事職員数（人）	0.53	0.59	0.65	0.65			
	人件費相当試算※	4,113,815	4,643,039	5,327,652	5,327,652			
総事業費試算		131,873,725	129,981,039	135,370,652	134,895,652			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
活動指標 1	手当メニュー数	目標値	件	4.00					
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		法で定められているため目標は設定できない。/給付する手当の数						
活動指標 2	在宅重度心身障害者手当受給者申請件数	目標値	件	14,595.00					
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請件数のため目標は設定できない。 / 年間延べ人数						
活動指標 3	障害児福祉手当受給者申請件数	目標値	件	707.00					
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請件数のため目標は設定できない。 / 年間延べ人数						
成果指標 1	各種受給者への給付率	目標値	%	100.00					
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請による給付のため目標値を100%と設定した。/各手当給付率						
活動指標 4	特別障害者手当受給者申請件数	目標値	件	1,510.00					
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請件数のため目標は設定できない。 / 年間延べ人数						
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA~Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	特別障害者手当1,510件、障害児福祉手当707件、福祉手当36件、在宅重度心身障害者手当14,595件の支給を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	給付を100%実施することができた。
		評価者	給付係長 茂木 徹也

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	住民基本台帳システム等と連携した専用システムにより、受給者の審査・登録や、支給情報等を、正確かつ効率的に管理できている。
		評価者	給付係長 茂木 徹也

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	障害関係手当給付事業	担当課	障害福祉課	担当係	給付係	管理番号	26121		
<input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入) <input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続 <input type="checkbox"/> ③見直して継続 <input type="checkbox"/> ④目的達成による終了 <input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討		<input type="checkbox"/> 委託化等の検討 <input type="checkbox"/> 成果向上のための改善 <input type="checkbox"/> 効率化のための改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の縮小 <input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合		評価の内容説明 法に基づく経済的支援であり、各手当受給者の経済的・精神的負担の軽減に繋がっているため、今後も継続して実施する。				評価者 障害福祉課長 浅田 朱美	
上記を実施するための具体的な取組内容は？									

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

